



# 学校だより

開く つなげる とともに

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

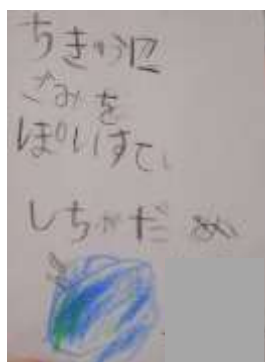
令和4年5月31日  
横浜市立豊田小学校  
6月号

## 6月は「環境月間」

### 「ちきゅうに ごみを ぽいすて しちゃだめ」

学 校 長

6月5日は、「世界環境デー」。1972年6月5日ストックホルムで開催された国連人間環境会議を記念して定められました。さて、「思いやりボックス」に一葉のはがきが届きました。差出人は、1年生でした。そこには、「ちきゅうに ごみを ぽいすて しちゃだめ」と、地球のイラスト付きで書かれていました。



この児童と「校長室」で、「対話の時間」をもちました。

「お手紙ありがとうね。ところで、どんな気持ちで書いたのかな。」「僕は、みんなから、よくやさしいねって、言われます。あともう一つ、大事な理由があります。それは、2050年に、本当に火星に引っ越しをすることになったら、大変だし、いやだから、もっともっとみんなが地球にやさしくしていかないと、だめだと思ったからです。」そして、宇宙エレベーターの計画のことも話してくれました。

道端や川にペットボトルやポリ袋などのプラスチックがポイ捨てされると、やがて川から海に流れこみます。現在、直径5ミリ以下のマイクロプラスチックが、大きな海洋汚染の問題となっており、このまま使い捨て続けると、2050年には、海の中を漂うプラスチックごみは、魚の数より多くなると言われています。今、一人ひとりが、地球に生きる共同体としての意識をもち、国家間の争いをなくしていかなければ、人類は次のステップへと進むことはできません。特に、気候変動は、既に世界各地で広く甚大な影響をもたらしています。

「政治的に何が可能かではなく、何をやる必要があるかに目を向けようとしないう限り、希望はありません。」(2018年12月 スウェーデンの少女グレタ・トゥーンベリさん)

今年度、本校では、この地球的課題であるSDGsについて学び、私たちに何ができるかを、未来に生きる子どもたちと、“ともに”考えていきたいと思えます。